

「佐渡障がい福祉フォーラム 2018」

(1) 開催日時

平成30年7月14日(土)～15日(日)

(2) 会 場

あいぽーと佐渡

(3) 参加人数

178名(2日間延人数 1日目のみ51名、2日目のみ29名)

(4) 懇親会参加者

74名(講師12名含む)

(5) 内 容

裏面参照



シンポジウム①



懇親会



ファイナルセッション



アール・ブリュット展

内 容

1日目

オープニング 「佐渡のいま、これから」

登壇者：兵庫研司 氏、藤井祐希 氏（佐渡市社会福祉課）

進 行：本間奈美 氏（相談支援センターそらうみ）

シンポジウム① 「あきらめない！触法障害者支援」

～ あなたの地域で さあど～活かすか ～

コーディネーター：堀江まゆみ 氏（白梅学園大学教授）

シンポジスト：本多崇人 氏（新潟地域生活定着支援センター）

シンポジウム② 「共生社会に向けた就労支援」

コーディネーター：北沢 健 氏（リゾートトラスト株式会社）

シンポジスト：広瀬大海 氏、平越将樹 氏（伊藤建設）

：山本哲也 氏（つぼ八）

：石崎素子 氏（ハローワーク佐渡）

：野田康子（あてび）

シンポジウム③ 「つながりの中で自分らしく生きる」

～ ピアサポートの力 ～

コーディネーター：青木美代子 氏（上越メンタルネット）

当事者の方々（3名）

2日目

対談 「障害に理解と配慮のあるまちづくり」

～ 虐待防止と差別解消 ～

片桐公彦 氏（厚生労働省）× 野沢和弘 氏（毎日新聞論説委員）

講演 「たいせつなこと」

～ 療育支援を生かすための、保健・福祉・教育の連携 ～

講師：酒井田恵子 氏（阿賀野市かがやきこども園）

ファイナルセッション 「未来への一歩」 ～佐渡 Next stage～

進行：野沢 和弘 氏（毎日新聞論説委員）

登壇していただいた講師の方々